

## 学会参加報告書

R21-056 西口弥穂

学会名：韓国放射線技術学会

今回私は韓国で開催された KIMES 2024 & Seoul Radiological Technologist Association(SRTA) 58<sup>th</sup> International Conference に参加した。また、韓国ソウルにある上級総合病院サムスン(三星)ソウル病院も見学にも参加した。

サムスン病院では病院の理念や歴史の紹介を受けた後、院内の見学を行った。院内には至る所に受付や道案内ができるコンシェルジュの機能を持った機械が設置されており、人員削減をしていた。さらに、薬の配送をする複数台ロボットが設置されており日本より機械化が進んでいると感じた。放射線科の見学では、がん教育センターが特に印象的であった。そこは副作用により髪がなくなったがん患者へのカツラの展示や、がんを克服した患者との交流ができる場所であり、患者が自由に得たい情報を得られ患者に寄り添えると感じた。

SRTA では国際セッションを聴講した。12 人の発表者の中には同じ歳の学生もおり、英語で堂々と発表し質疑応答もする姿に刺激を受けた。また、パワーポイントの資料において、日本や台湾の発表者は資料に文字を入れ説明していたが、韓国の発表者は発表資料に文字をほとんど使用せずシンプルにイラストのみで説明を行っており、国により特徴があり面白いと思った。発表の中で、着色マーカーに関する研究発表があった。放射線技師の研究は使用する装置や検査に関するもののみだと考えていたが、この研究のように専門分野以外の物も研究対象であるのだと知った。国際セッション後に展示ブースを訪れ、韓国社製の様々な最新モダリティーを見学した。SAMSUNG のポータブル装置は、二本の光によって正しい照射距離の確認ができたり、FPD を安全に収納できる機能があり、日本のポータブル装置に無い機能が沢山備えられていた。KIMES の学会終了後は様々な国の方々と交流をさせていただいた。特に韓国の放射線技師の方とは、各国の働き方の違いや本職業を目指したきっかけなどを話し合うことができた。

KIMES 参加は初めての国際学会参加であった。言語の壁につまずきながらも各国で活躍される放射線技師や学生の研究に刺激を受け、そして、国外だけでなく国内含めて活躍される放射線技師の方と交流することができた。このような貴重な経験をできたことに感謝し、この経験を糧に勉強に励みたいと強く思った。



写真 1 : SAMSUNG のポータブルを動かしている様子



写真 2 : 院内のロボットを監視・制御している部屋



写真 3、4、5 : KIMES 参加



写真 6 : SAMSUNG の最新ポータブル装置の操作画面